

風雲児 織田信長（1959）

メディア 映画
ジャンル 時代劇
製作国 日本
色彩 Color
時間 95分
初公開日 1959/10/25

【解説】

山岡荘八の長編小説『織田信長』を「百万両五十三次」の結束信二が脚色し「いろは若衆 花駕籠峠」の河野寿一が監督した時代劇巨編。父の死から桶狭間の戦まで、織田信長の半生を描く。

父の葬儀に荒縄を腰に巻いた姿で現れた十六歳の織田信長は、抹香を位牌に投げつけた。世間からは狂人とののしられたが、妻の濃姫だけは信長の頬を伝う涙を見逃さなかった。濃姫の父である美濃の斉藤道三は信長に面会を要求してきたが、信長はこれを拒否し「うつけもの」の仮面をかぶり続けた。しかし最愛の家臣だった平手政秀が自害したことから、信長は一転して面会を受諾、礼装し千人の軍を率いて道三を圧倒した。しかし突然、今川義元が四万もの大軍を率いて尾張領に攻め込んできた。それに対して信長軍はわずか五千。今川軍はすでに桶狭間まで迫ってきていた。

【クレジット】

監督 河野寿一
企画 小川貴也
中村有隣
原作 山岡荘八
脚本 結束信二
撮影 坪井誠
美術 吉村晟
音楽 富永三郎
出演 中村錦之助
香川京子
月形龍之介
進藤英太郎
中村賀津雄
里見浩太郎